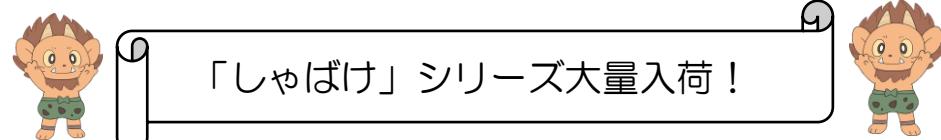


図書だよい 第9号

令和8年1月21日 発行
兵庫県立飾磨工業高等学校 全日制 図書部

2026年を迎えてから早くも1ヶ月が経とうとしています。つい先日、「あけましておめでとう！」なんて言っていたのに・・・。昔からよく言われることわざに、1月は「いく（行く・往ぬ）」、2月は「にげる（逃げる）」、3月は「さる（去る）」というものがあります。

皆さんは聞いたことがあるでしょうか？これは、江戸時代以降の庶民の生活感から生まれたもので、特に忙しい時期を象徴していて、1月から3月までの3ヶ月間は、行事などが多くあつという間に過ぎ去ってしまうことの例えです。本校でも、1月は冬休み、正月、3年次生は卒業考査、2年次生は修学旅行などがあります。2月は推薦入試、卒業式、期末考査などがあり、3月には入試の関係でほとんど授業もなく、気が付けばアッという間に今年度が終わってしまいます。単に時間が過ぎるのが早いと嘆くだけでなく、「この時期は油断しているとすぐに終わってしまうから、計画的に過ごしなさい」という教訓としても用いられます。3年次生は2月には自由登校になり卒業まで登校する日が残り少なくなりましたが、4月までの2か月間で就職・進学の準備をしっかりしておきましょう。1、2年次生も1年間のまとめの時期に来ています。1年を振り返り反省するところはしっかりと反省し、来年度に向けての目標を立てましょう。



先生より「しゃばけ」シリーズ（畠中恵：著）を寄贈していただきました！

主人公は江戸の大店の跡継ぎであるが、とても病弱な「若旦那」。妖狐である祖母の血を引いているため妖が見えるという秘密を持っています。若旦那の世話を任せている2人の手代も実は妖。若旦那が暮らす離れにはたくさんの妖が集ってきます。若旦那と共に妖たちが江戸の町で起こる色々な事件を解決したり不可思議な出来事に遭遇したり・・・毎回出てくる個性豊かな妖たちの姿を想像しながら読んでいくと面白いと思います。特に、若旦那の屋敷に住み着いている家鳴り（やなり）という小鬼たちがとても可愛いです。

第5弾：うそうそ 第6弾：ちんぶんかん 第7弾：いっちゃん
第8弾：ころころ 第10弾：やなりいなり 第15弾：おおあたり
第17弾：むすびつき

新着図書の紹介



マスカレード・ゲーム（東野圭吾：集英社）

解決の糸口すらつかめない3つの殺人事件。共通点はその殺害方法と、被害者はみな過去に人を死なせた者であることだった。捜査を進めると、その被害者たちを憎む過去の事件における遺族らが、ホテル・コルテシア東京に宿泊することが判明。警部となった新田浩介は、複雑な思いを抱えながら再び潜入捜査を開始するー。

木村拓哉主演映画で話題になった「マスカレード・ホテル」シリーズ第4弾。

マスカレード・ライフ（東野圭吾・集英社）

ホテル・コルテシア東京で開催されることになった、『日本推理小説新人賞』の選考会。当日、文学賞受賞の候補者として、ある死体遺棄事件の重要参考人が会場に現れる！？警視庁を辞め、コルテシア東京の保安課長となった新田浩介が、お客様の安全確保を第一に、新たな活躍をみせる最新作。ホテルマン新田浩介、始動。そして、父との再会。ホテル・コンテシア東京で開かれる文学賞選考会。最終候補者のなかに殺人事件の容疑者が…！？「マスカレード・ホテル」シリーズ第5弾、最新作。

少女マンガジェンダー表象論〈男装の少女〉の造形とアイデンティティ 新増補版 (押山美知子：アルファベータブックス)

本論では、“男装の少女”というヒロイン像を切り口に、日本の少女マンガにおけるジェンダー表象がどのような形で構築され、どのような形に変容していったのかを探ることを主要な目的としている。“男装の少女”というヒロインの容姿造形を構成する絵画表現、すなわちジェンダー・コードとなる表象記号に着目し、どのような表象記号の組み合わせによってヒロイン像が描き出されていったのかに重点を置いた論考を試みている。

- 第1章 “男装の少女”キャラクターの出発点—手塚治虫『リボンの騎士』
- 第2章 「傍流」としての“男装の少女”—水野英子『銀の花びら』
- 第3章 “男装の少女”的成長—池田理代子『ベルサイユのばら』
- 第4章 “男装の少女”的反復と再構築—オスカル以降の“男装の少女”
- 補章 “男装の少女”その後—ゼロ年代の“男装の少女”
- 新補章 “男装の少女”その後二—『リボンの騎士』再び



3年次生の皆さんの中で、図書室で本を借りたままになっている人がいましたら1月中に必ず返却してください。

